

令和7年度 第6回理事会議事録

公益社団法人日本ホッケー協会

1. 日 時 令和7年9月24日(水) 19:00開始
2. 場 所 ZoomによるWeb会議
3. 出席者 理事18名中14名、監事1名

(理事) 三須 和泰、北野 妙子、多氣 洋平、永井 祐司、安西 浩哉、
箸本 明雄、近藤 聡史、高瀬 美保、久保 克敏、小野 真由美、
小林 和典、福島 雄裕、
(途中参加) 西田 美和子、安枝 和子

(監事) 花野 信子

なお、西田 美和子理事は「報告③ 補正予算の方向性に関する議論」の途中から、安枝 和子理事は「その他」から参加した。

4. 開会宣言

定刻、坂本事務局長が開会を宣言した。

5. 定足数の発表

(1) 坂本事務局長が、理事18名中12名が出席しているので本理事会は定款第39条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げた。また理事以外として、坂本事務局長、鈴木事務局次長、内山財務総括副部長が出席しているとの案内があった。

(2) Zoomでの出席者の音声は即時に伝わり、一同に会するのと同様に適時・的確な意見表明が互いに出来る状態となっていることが確認された。その後、議題の審議に入った。

6. 報告事項

① 男女アジアカップ結果報告／ワールドカップ出場条件

永井強化育成本部長から画面投影されている資料に基づき説明があった。

② 強化育成本部体制変更

永井強化育成本部長から画面投影されている資料に基づき説明があった。

③ 補正予算の方向性に関する議論

福島財務総括部長から画面投影されている資料に基づき説明があった。

7. その他

- 高瀬ホッケーファミリー未来部長から、全国スポーツ少年団ホッケー交流大会における熱中症などの救護対応について口頭で報告があった。
- 坂本事務局長から、日本ホッケー協会賞の募集について口頭で報告があった。
- 坂本事務局長から、第3期ホッケータウンの募集について口頭で報告があった。
- 福島財務総括部長から、登録の在り方検討について口頭で報告があった。
- 坂本事務局長から、ドンキホーテ（PPIH）と日本代表選手の対談について口頭で報告があった。
- 坂本事務局長から、ポケットカードのホッケー教室、観戦などへの協力について口頭で報告があった。
- 坂本事務局長から、事務局体制の強化について口頭で報告があった。
- 坂本事務局長から、コンプライアンス維持に関する取り組みについて口頭で報告があった。
- 北野副会長から、日本代表の中国遠征について口頭で報告があった。
- 坂本事務局長から今後の理事会関係のスケジュールについて、口頭で報告があった。
- 箸本法務・コンプラ推進部長から、コンプライアンス委員会での対応事例について口頭で報告があった。

以上をもって議事の審議を終了し、議長は20時50分、閉会を宣言した。